

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4075400327		
法人名	ケア・サービス 株式会社		
事業所名	グループホーム かえで (華の街通り)		
所在地	〒807-1307 福岡県鞍手郡鞍手町大字室木801番地 Tel 0949-43-3900		
自己評価作成日	令和05年11月29日	評価結果確定日	令和06年01月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号 Tel 093-582-0294		
訪問調査日	令和06年01月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

力を入れている点…体調管理・病院との連携が取れており、状態の変化がある場合に相談が出来る事 アピール点…食事やおやつを、愛情たっぷりの手作り、入浴を大きな施設にはない、お一人おひとりの、ゆっくり丁寧なケアが出来ている事。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27) ○	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21) ○
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40) ○	66	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22) ○
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40) ○	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39) ○	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
62	利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51) ○	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:32,33) ○	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念共有に関して、ミーティングや社員教育等で「ぬくもり・安心・やさしさ・そして地域とふれあい」を心に刻んで、ケアに取り込む様心掛けている。樹街・華街同様です。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナが五類になり、緩和されボランティア・地域の小学校からのふれあいを考えていた矢先、スタッフに利用者様のコロナ陽性者が出たりしましたが、少しずつ開催に向け取り組んで行きたい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の医療関係の、介護連携推進会議の参加の実践に取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染が施設職員や、利用者様が陽性が出たり、治まっては又出たりと中々難しい状況ではありましたが、R5年10月より開催出来る様になり、サービス向上へ向け努力していきます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に、出席して頂き空室状況等報告し鞍手町の、高齢者の情報交換し協力関係を築いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフとの会議等を開き、身体的拘束は無いかなど、確認し身体的拘束しないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止や身体拘束を含め、勉強会を開き、日頃のケアに対し、スタッフ同士体調のコンディションなども声を掛け合い、利用者様のケアに優しく対応できているか、注意を払い防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設けている、成年後見人制度を活用されている利用者を支援しており後見人の方も時々近況確認に来られる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、規約をその場で説明し、不安や疑問に関しても契約時に毎月一回は、お尋ねし理解・納得して頂く様務めている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からの要望に関して、ご家族への報告・承諾を得て、対応し反映し外部者にも事例を基に、意見等を伺い反映に活かせる様務めている。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	先ず代表と管理者での話し合いをし、職員からの状況等を聞き取りし、意見・提案を皆で考え、ミーティングの場で、考え反映に目指している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の実績把握し、職員の要望を聞かれ各自が、働きやすい環境作りや、向上心を持てる職場環境作る様に努めている。		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員募集に、年齢性別に制限はしておらず、採用時も得意分野や苦手分野等を聞き、能力発揮出来る様に配慮する。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ミーティング・スタッフ教育の場で、周知徹底に努め利用者様の人権を尊重するために、職員で意識を共有する様に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・個人面談にて、一人ひとりの経験・能力を発揮出来る様支援している、職員のスキルアップに向け外部研修の参加の支援も実施に向け取り組んでいきたい。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク作りは、コロナ五類になり、少しずつ出来る様になり、サービス向上に向け取り組みに努力して行きます。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安や要望等の訴えがある場合は、スタッフが居室へ行き、長い時で1時間～2時間心が落ち着くまで、お話しその都度対応し信頼関係を築いています。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との毎月一回の、状況等の報告をし、要望に応えるられ、信頼関係を保てるように努力しています。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度の状況報告等で、ご本人様が必要としている事や、ご家族の必要としている事を受け止める対応に務めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「ありがとうございます・ごめんなさい」はかえででは、一番大事で大切な言葉に思い、お互い合える関係性を築いて行き、相手の立場で考えられる職員教育も含め、支え合える関係を築いて行ける努力をしています。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた時、利用者様にスタッフも同席し、スタッフとご家族との会話もあり、ご家族が本人様にしてあげたい事などが聞け、絆を大切にしている事もよく分かり、関係を築いて行けるよう務めていきます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達も来ていただいたり、ご家族からの連絡で○さんが、会いに行きたいとの要望があったりで、身寄りがいない方も居たりして、支援ができていない方もいます。		
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様に、人との関わりが難しい方が数人いて、孤立していますが、無理なく少しづつ他利用者様との関わりが、持てる支援に努めています。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用中、居心地良いサービスの提供を心掛け、サービス終了後ご家族の方・病院・福祉関係からの、問い合わせにより相談支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望・意向の把握に努めている中、「自分一人で生活出来る！」など仰る利用者様も居たりで、ご本人様本位で検討しています。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握し、ミーティング等で、振り返りも取り組み努めていきます。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態は、現状維持で今の状態より、悪くならないように観察しながら、把握しに努めています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャー・スタッフがモニタリングを行い、ご家族の意見を聞き、スタッフとの話し合いの場を設け、介護計画を作成している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフの困り事を、皆の意見集め課題をまとめ、グループワークを開き、実践・結果・気づきを月に一度経過を共有し活かしています。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族に依存し、職員に頼って頂けるよう様々な努力していますが、買い物やドライブ等のサービス拒否もあり、これからも諦めずにサービスの多機能化に取り組んでいきます。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	少しずつボランティアの方訪問を受け入れ、楽しく過ごして頂ける時間を、共有できる様に支援していきたい。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診に来られてる病院ではなく、馴染みの病院や主治医が良いとの事で、ご本人様とご家族の希望により支援しています。		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療機関との連携が取れており、個々のご利用者様の状態により、病院看護師に連絡し適切に受診出来る様に支援しています。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医師との連携がしっかり取れ、訪問看護が必要に応じ、Drとご家族に管理者・ケアマネとの面談し介護職との共有徹底し、支援に努めます。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合として、ご家族には話し合いはしているが、まだ元気な状態の時はそこまでハッキリとした解答は出なく、承諾書までは行かないのが現状ですが、重度化になって話し合いした事を、理解していただき、改めて方針を共有し取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回の消防訓練と同時に実施を行っています。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防避難訓練年2回行っているが、地域との協力体制ができていないのが現状です、来年度より義務化になるので、BCP対策マニュアルを作り緊急事態に備えたい。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ・おむつ交換・入浴時等は特に気を配り、プライバシーを損ねぬ様、ご本人様との言葉かけや周りの配慮に、日常生活の日常会話にも人格や誇りを傷つけない対応を、心掛け努めています。		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いの表し方が苦手な方や、こちらに気を使い言えない方もいらっしゃいます、お一人おひとりの、性格の把握もできているので、こちらからのアプローチし、場を変えたりと表せる環境作りしたりと、努めています。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	かえでの基本として、決まり事を作らないご利用者様優先になっており、今も守り希望に添える支援をしています。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみやおしゃれ好きな方も多く、支援は出来ています。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の上手なスタッフばかりで、スタンス全員が好みを把握し提供しています。ご利用者様自らテーブルを拭いてくれたりお片付けしていただいたりと、こちらが頼まずして自らしてくれています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がいないので、きちんとした栄養バランスは難しいですが、往診時に体重測定や採血検査等で、Drと相談しながら状態維持をしています。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	スタッフが側に付き、口腔ケアや義歯の管理もできています。102歳の方はまだ全部がご自分の歯でいらっしゃいます、凄いなあと感心しています。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれが個々の排泄パターンの把握し、トイレ誘導の声掛けなどで、習慣を乱さないよう心掛け、自立維持に向け支援しています。		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物や無理ない運動など、工夫し取り組んでいます。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の好きな利用者様も多く、希望に添える入浴は出来ています。		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣が定着しており、個々の自由が基本にあり、休息も取れています。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関との連携が取れており、個々のご利用者様の状態により、病院看護師に連絡し適切に受診出来る様に支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物や掃除などの役割などを、自ら掃除をしてくれたり、嗜好品などご家族とご本人様とお話しし、少しでも家で暮らしていた、居室空間に近づけるよう支援しています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	スタッフからのドライブや買い物支援拒否がある方は、ご家族の協力を仰ぎ戸外や買い物などに行ってもらっています。他利用者様に関しては、買い物支援やドライブ支援など、希望に添えるよう支援しています。		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様が、通帳やお金を所持されてる方もいますが、ほぼ事務所管理やご家族管理になっています。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話も自由に使えるよう、支援しています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような事はありますが、トイレや洗面所の事で、利用者様一方的な混乱される事が、たまにあります。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自ら孤立を望まれる方もいらしゃり、人付き合いが苦手だったり、統合失調症だったり、そのご利用者様方に関して、工夫しましたが難しく、今は思いを尊重し過ぎて頂いています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族ご本人様とのご相談し、工夫し今現在定着し、居心地の良く過ごして頂いています。		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりに工夫していますが、見守り寄り添いケアに重点を置き、自立した生活が送れるよう努めています。		